

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	子育て支援センター事業			事業番号	06-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	岩田 孝	子育て支援課	天野 勝彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち		
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで喜ぶまちづくり		
		施策展開の方向	1	子どもを産み育てやすい環境のまちをつくる		
		施策	6	子育て家庭への支援充実		
予算事業名	子育て支援センター事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	努力義務規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成9年度	～	終了年度	-	
関連法令等	児童福祉法、次世代育成支援対策交付金交付要綱、地域子育て支援拠点事業実施要綱、次世代育成支援対策推進法					
国・県の計画等	-			計画期間	-	
関連個別計画	いせはらっ子応援プラン			計画期間	平成22年度～平成26年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	近年の核家族化の進行や地域社会における人間関係の希薄化等により、家庭や地域における育児力は大きく低下しており、保護者の育児不安・孤独感が増大している状況になっています。					
目的 (何をどうしたいのか)	地域の子育て家庭の支援活動を企画、調整、実施する「子育て支援センター」を設置し、地域で孤立しがちで子育てに不安や悩みを持つ親に対して、身近で気軽に利用できる支援拠点を提供し、母親たちの孤立感・育児不安の軽減・解消を図るとともに、育児をゆとりをもって楽しめる子育て環境づくりを進めます。					
主な対象 (誰・何を対象に)	保護者と児童(主に就学前)					
事業内容 (手段、手法など)	・複雑・多岐にわたる市民ニーズ等を的確に把握し、必要な人材の育成等を通じて地域活力の向上を図り、地域ボランティア団体との協働によるセンターの運営を推進することにより、子育て支援の環境整備の促進を図ります。					
事業行程	項目	年度		28年度	29年度	
		子育て支援センターフリースペース設置	継続実施	継続実施		
	子育てひろばの設置	6カ所設置	6カ所設置			
	つどいの広場の設置	2カ所設置	2カ所設置			
	つどいの広場拡充	子育てサポーターへの委託実施	子育てサポーターへの委託実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		28年度	29年度
			地域における子育て支援拠点の設置箇所数	子育て支援センター1 つどいの広場1 子育てひろば6	子育て支援センター1 つどいの広場2 子育てひろば6	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施会場(分室、石田西集会所、比々多保育園、児童館等)については、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の管理や利用方法等について、施設所管部署等との調整を図ります。 ・つどいの広場(なるせ)は、2年目となる業務委託による運営の安定化を図るとともに、つどいの広場(ひびた)の運営についても、子育てサポーターが定期的に参画し活動の幅を広げます。 ・つどいの広場の増設に向けた検討を行います。 		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	伊勢原市子育てサポーター連絡会 「つどいの広場(なるせ)」のみを業務委託
	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	補助先	
		具体的内容	
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	子育て支援センター フリースペース設置	継続実施	継続実施
	子育てひろばの設置	6か所設置	6か所設置
	つどいの広場の設置	2か所設置	2か所設置
つどいの広場拡充	子育てサポーターへの委託実施	子育てサポーターへの委託実施	
実施した取組の内容	センター拠点である「フリースペース」、衛生拠点である「つどいの広場」、出張拠点である「子育てひろば」を運営し、親子が気軽に集える地域の子育て支援拠点としての役割を担いました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
			29年度
	地域における子育て支援 拠点の設置箇所数	子育て支援センター1 つどいの 広場1 子育てひろば6	子育て支援センター1、つどい の広場2、子育てひろば6

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		9,821		千円	10,290		千円		
内訳	国県支出金 ①	6,547		千円	6,864		千円		
	地方債 ②	0		千円	0		千円		
	その他特財 ③	0		千円	0		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	3,274		千円	3,426		千円		
国県支出金の内容		子ども・子育て支援交付金 補助率:国1/3, 県1/3, 市1/3							
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.00	人	0	千円	0.70	人	6,111	千円
	その他の職員	1.07	人	2,600	千円	0.57	人	1,379	千円
	人件費合計 (b)	1.07	人	2,600	千円	1.27	人	7,490	千円
トータルコスト (a)+(b)		12,421		千円	17,780		千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	保護者と児童(主に就学前)		単位	保護者と児童(主に修学前)		単位	
		対象数	25,482		延人	25,211		延人	
	総事業費 /対象数	487		円	705		円		

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>地域の子育て支援拠点として、フリースペースやつどいの広場、子育てひろばを運営し、孤立しがちな母親の育児相談の対応や子育てに関する情報提供を行いました。また、子育て中の母親の不安感や孤独感を緩和するために、相互交流の場を提供し、交流の促進を図ることで子どもの健やかな育ちを支援しました。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	<p align="center">B</p>	<p>他都市事業内容等</p>	<p>子育て支援センターは、厚生労働省の通達や児童福祉法の規定に基づき、県内各市等に設置されており、事業内容的にはほぼ同様となっています。 <参考> 直営:伊勢原市、厚木市、海老名市(1か所)、綾瀬市(3か所)、愛川町 委託形式:大和市、座間市(3か所)、海老名市(1か所)</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>本事業は、子育てアドバイザー(保育士等専門職)や子育てサポーター(地域ボランティア)、児童委員の助言や援助、利用者同士の交流によって子育て不安を解消・軽減できており、地域全体で子育て支援環境の充実を図ることができています。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>子育てサポーターや児童委員との連携・協力体制により、地域の特性や実情を踏まえた、効率的な子育て支援環境の醸成を図っています。</p>

 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)

<p>事業推進上の課題</p>	<p>実施会場(分室、石田西集会所、比々多保育園、児童館等)については、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の管理や利用方法等について、施設所管部署等との調整を図る必要があります。また、子育てサポーターと連携・協力した事業運営を前提として、平成32年度に開設を計画している「つどいの広場」増設に向けた検討を進める必要があります。</p>
<p>次年度以降の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実施会場(分室、石田西集会所、比々多保育園、児童館等)については、施設所管部署等との調整を図るとともに、石田西集会所の所管替え等について整理していきます。 子育てサポーターとの連携・協力体制の更なる充実を図りながら、地域に根ざした事業運営を進めます。 H32年度のつどいの広場の増設に向け、場所や費用、人員配置などの検討や調整を進めます。
<p>所管部長による総評</p>	<p>子育て支援センター事業は、親子同士の仲間づくりとともに子育て情報の共有、育児不安の解消などのための子育て支援事業であり、子育て世代が地域で安心して子育てをするためには、重要かつ有効な施策です。今後も、市が養成した子育てサポーターと連携・協力しながら、更なる事業の充実及びつどいの広場の拡大に向けた取り組みを図っていくべきと考えます。</p>